

2014 年 1 月 1 日～2020 年 10 月 31 日の間に 総合医療センタ - 外科において肺切除術を受けられた方へ

—「肺腫瘍空洞性病変の組織学的検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	病理学	准教授	物部泰昌
研究分担者	川崎医科大学	病理学	講師	藤原英世
	川崎医科大学	病理学	教授	森谷卓也
	川崎医科大学	総合放射線医学	教授	加藤勝也
	川崎医科大学	総合外科学	准教授	深澤拓也

1. 研究の概要

肺の空洞性病変は結核、真菌症などで認められますが、肺がんでも時に、胸部 CT などで空洞を伴う腫瘤陰影として発見されることがあります。そこで、肺がんなど肺腫瘍で手術された症例の病理標本を振り返り、どのようなタイプ（組織型）のがんに多いのか、またそれぞれのタイプで空洞ができる仕組みに違いがあるかを、顕微鏡学的に観察して検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2014 年 1 月 1 日～2020 年 10 月 31 日の間に、川崎医科大学総合医療センター 外科において、肺切除術を施行された方を研究対象とします。

2) 研究期間

2020 年 10 月 7 日～2021 年 12 月 31 日

3) 研究方法

研究者が診療情報をもとに対象者を選び、対象者の手術時に採取され、病理診断が終了した方の臓器肉眼写真とプレパラ - ト標本を使用して観察し、カルテに記載された臨床情報や画像情報と対比して分析します。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：病理診断や病理所見と年齢、性別、画像診断所見などの臨床情報などについて調査します。

試料：ガラス標本や肉眼写真

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター病理部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、（2021年3月31日までの間に）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 病理学

川崎医科大学総合医療センター 病理科

氏名：物部 泰昌

電話：086-225-2111 内線 86021（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-233-2763

Email：y.monobe@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行います。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。